

2 話し合い活動を取り入れた 情報モラルの学習プラン

この章では、話し合い活動を通して自己理解を深める5つの学習プランを示しました。平成17年3月発行の「ネット社会における安全指導資料」においても同様の指導法を示しましたが、本資料では、短時間で、より手軽に取り組みやすい学習プランとしました。「3 資料」の「話し合い活動を通じた情報モラル指導の考え方」を参考に、時間配分等は各学校の実情に合わせて指導してください。

活用の仕方

この資料は、話し合い活動を通して情報モラルの育成を図る資料です。

道徳、特別活動、総合的な学習の時間などで、

児童生徒に自分たちの考えを話し合わせることによって、情報モラルについて自分たちで考えていく力を育ててください。



ネット社会のルールやマナーを理解した上で、実際に行動できる態度を育成することが大切です。

本冊子に掲載してあるワークシートは、栃木県総合教育センターのホームページからダウンロードできます。学校の実情に合わせて加工してお使いください。

学習プラン1 「私のネット利用」

今から隣の人と2人組になって、「普段、携帯電話やメール、インターネットなどをどのくらい利用しているのか」、「何を利用しているのか」について、5分間で相手に分かるように説明してみましょう。説明する人は、なるべく隠さずに正直に話してみましょう。

説明を聴く方は、メモを取りながら聴くようにします。

2人とも説明が終わったら、相手の利用状況について、メモを元に記録用紙に記入します。

記入が終わったら、記録した内容に間違いがないかどうか確認し合い、お互いのネット利用について振り返ってみましょう。



ねらい

インターネットや携帯電話の利用法について話し合わせることによって、相手の気持ちや考え方を理解させる。

活動形態

座席の前後、隣同士の2人組、または、3人組を作り人数を調整

準備するもの

筆記用具
記録用紙（簡単なメモ用紙）



指導展開例

学習活動	時間	指導上の留意点
「私のネット利用」の活動の流れを示す。	5分	活動の趣旨を理解させる。
お互いのネット利用について説明する。	10分	2人組の場合は5分ずつ、3人組の場合は3分ずつ説明する様に伝える。 聴く側は、適宜メモを取るように伝える。
記録用紙を元にお互いのネット利用状況について確認する。	10分	お互いの利用状況について確認することでそれぞれのネット利用について振り返らせる。

学習プラン2 「よく利用するネットコンテンツ」

今から隣の人と2人組になって、「普段、携帯電話やメール、インターネットなどをどのくらい利用しているのか」、「何を利用しているのか」について、5分間で相手に分かるように説明してみましょう。説明する人は、なるべく隠さずに正直に話してみましょう。

2人とも説明が終わったら、お互いに相手の利用についてどう思ったか感想用紙に記入して渡します。このとき、たとえ友だちがどんな使い方をしていても責めてはいけません。感想を正直に書くようにして下さい。

感想用紙を受け取ったら、友だちに書いてもらった感想を参考に、自分のネット利用について振り返ってみましょう。



ねらい

インターネットや携帯電話で利用するコンテンツを説明させることにより、自分の考えを、正確に伝える体験をさせる。また、相手が応じやすい質問の仕方はどのような方法がよいか考えさせる。

活動形態

座席の前後、隣同士の2人組、または、3人組を作り人数を調整

準備するもの

筆記用具
感想用紙（簡単なメモ用紙）



指導展開例

学習活動	時間	指導上の留意点
「よく利用するネットコンテンツ」の活動の流れを示す。	5分	活動の趣旨を理解させる。
友だちのよく利用するネットコンテンツやネットの利用状況についてインタビューする。	10分	2人組の場合は5分ずつ、3人組の場合は3分ずつインタビューするように伝える。 インタビューの例 <ul style="list-style-type: none"> • どんなサイトをよく利用する？ • 家でどのくらい見てる？ • 携帯での利用料金はどのくらい？
友だちのよく利用するネットコンテンツやネットの利用状況を聞いて感じたことを感想用紙に記入する。	5分	どう思ったかについてきちんと相手に伝えるように促す。
友だちから感想用紙を受け取ってどう思ったかについて発表する。	5分	何人かを指名し、感想用紙を読んで思ったことを発表させる。

学習プラン3 「こんなメールをもらったらどう思う？」

「このメールを見た人はすぐに10人の友人に同じメールを送ってください。そうしないと、あなたは交通事故にあってしまいます。」という内容のメールをもらいました。あなたはどのように思いますか。また、どうしたらよいと思いますか。



ねらい

インターネットや携帯電話のチェーンメール対処法について考えさせ、ネット上や日常のコミュニケーションについて、どんなことに気を付けたらよいか考えさせる。

活動内容

5～6人のグループ
各自の考えを発表する
グループの考えをまとめる

準備するもの

筆記用具
記録用紙（簡単なメモ用紙）

指導展開例

学習活動	時間	指導上の留意点
「こんなメールをもらったらどう思う？」の活動の流れを示す。	5分	活動の趣旨を理解させる。
ワークシートについて個人の考えをまとめる。	5分	グループの考えをまとめるときに必要なので、理由も簡潔に記入させる。 ワークシート「こんなメールをもらったらどう思う？」
5～6人グループに別れ、グループ各メンバーの選んだ考えをまとめる。	10分	相手の意見を受け止めながら自分の意見を述べさせ、お互いに納得することが大切であることを理解させる。
グループごとに発表する。	10分	各グループの発表を聞くことで日常のコミュニケーションについて振り返らせる。 ネット上のコミュニケーションも日常の延長であること理解させる。

「こんなメールをもらったらどう思う？」 ワークシート

年 組 番 氏名 _____

「このメールを見た人はすぐに 10 人の友人に同じメールを送ってください。そうしないと、あなたは交通事故にあってしまいます。」という内容のメールをもらいました。これを読んで、あなたはどう思いますか。また、どうしたらよいと思いますか。



1 このようなメールをもらったら、どんな気持ちになりますか。

2 このようなメールをもらったら、あなたならどうしますか。

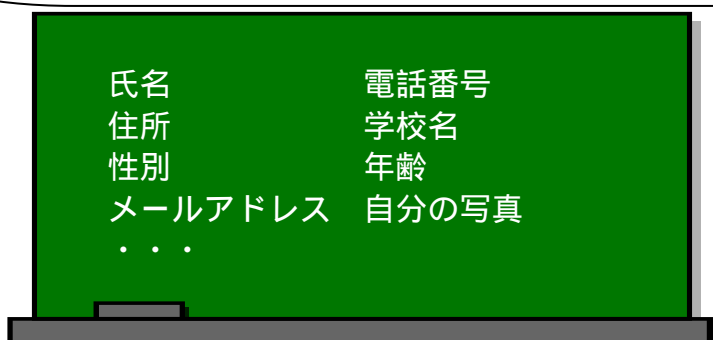
3 自分の気持ちや対応をグループで話し合い、どうしたらよいか意見をまとめましょう。

学習プラン4 「ちょっと待った！その情報は大丈夫？」

自分がブログを書くつもりで、このブログをよく読んで、どこに問題があるか考えてください。

みんなに読んでもらいたいブログですが、どこまでの情報を書き込んでいいのかよく考えてみましょう。

あなたならどう書きますか。



ねらい

ブログや掲示板の利用を通して、個人情報の扱い方について考えさせる。また、個人情報を他人に知られると、どのような事件事故に巻き込まれる可能性があるか考えさせる。

活動内容

5～6人のグループ
各自の考えを発表する
グループの考えをまとめる

準備するもの

筆記用具
ワークシート

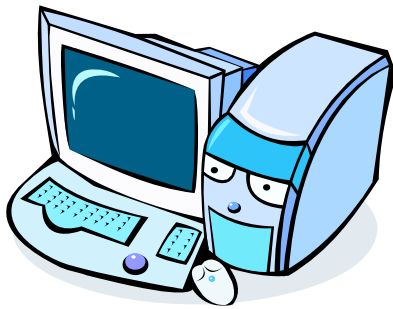
指導展開例

学習活動	時間	指導上の留意点
「ちょっと待った！その情報は大丈夫？」の活動の流れを示す。	5分	活動の趣旨を理解させる。 1時間扱いで授業を展開するときには、ワークシートだけで行う。
ワークシートについて個人で解答する。	5分	実際に誰が迷惑を受けるのかについても記入させる。 ワークシート「ちょっと待った！その情報は大丈夫？」
5～6人グループに別れ、各メンバーの考えを発表する。発表後グループで話し合い、グループとしての考えをワークシートにまとめる。	25分	各メンバーの発表を聞いて自分の考えに不足していることがあったら追記させる。
各個人情報についてグループごとに発表する。	10分	グループでの話し合い、各グループの発表を通して個人情報の取扱について理解させる。

「ちょっと待った！その情報は大丈夫？」 ワークシート

年 組 番 氏名 _____

まいちゃんは開設している自分のブログに、次のような書き込みをしました。この書き込みの問題があるとすればどこですか。その内容と理由を書きましょう。自分の考えがまとまったら、グループで話し合ってみましょう。



公民館での講演会 / 2006年12月15日

どうもー 今日うちの父が主催の講演会でした
 父は 栃木市にある瓦谷商事の課長をしています
 ま、話したのは 歩いて世界一周をした人ですw
 それで ですね 感動しました
 写真も撮ったんだけど こんどブログにのせるね(笑
 興味のある人は 次のメールアドレスに連絡してよ p^ ^q
 mai0615@tochigi.jp だよーん
 いっしょに聞いていた友だちは 由美ちゃんと亜紀ちゃんです
 私と同じ総合小学校の6年1組のお友だちです
 とりあえず 今日の報告でーす

問題のある内容	私の考えた理由	友だちの考えた理由

インターネットで情報^{じょうほう}を発信^{さい}する際に、気を付けなければならないことを各班で考えてみましょう。

学習プラン5 「ネット利用！あなたならどうする？」

今日は、インターネットや携帯電話を利用する中で出会うかもしれないいくつかの場面について考えてもらいます。

まず、あなたならどう対応するか考えてください。

その後、5～6人のグループになって、グループとしての考えをまとめてください。ただし、グループでの話し合いでは、他の人の意見に簡単に賛成しないで、自分の考えをみんなにきちんと伝えるようにしてください。また、人の意見もよく聞いて理解するように努めましょう。



ねらい

インターネットや携帯電話を利用する上でのルールやマナーについて理解させるとともに、相手の考えや気持ちに理解を示しつつ自分の考えもきちんと伝えることの大切さを体験させる。

活動内容

5～6人のグループ
各自の考えを発表する
グループの考えをまとめる

準備するもの

筆記用具
ワークシート
振り返りシート

指導展開例

学習活動	時間	指導上の留意点
「ネット利用！あなたならどうする？」の活動の流れを示す。	5分	活動の趣旨を理解させる。
ワークシートの2問について個人で解答する。	5分	グループの考えをまとめるときに必要なので、理由も簡潔に記入させる。 ワークシート「ネット利用！あなたならどうする？」
5～6人グループに別れ、グループ各メンバーの選んだ考えを発表する。発表後グループで話し合い、グループとしての考えをワークシートにまとめる。	20分	相手の意見を受け止めながら自分の意見を述べさせ、お互いに納得することが大切であることを理解させる。
活動を振り返り、今感じていることについて振り返りシートに記入する。	10分	きちんと自分の意見が言えたか、安易な妥協はしなかったか、何を感じたかを振り返らせる。

「ネット利用！あなたならどうする？」

年 組 番 氏名

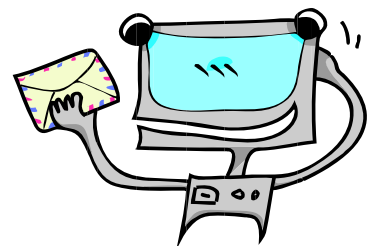
あなたが、いつも学校の仲間とインターネットや携帯電話けいたいを利用しているものとします。以下には、その中で出会うかもしれないいくつかの場面が設定してあります。あなたならどう対応たいおうしますか。3つの答えの中から一番よいと思うものを1つ選んで、を付けてください。また、その選択肢せんたくしを選んだ理由と、他の選択肢せんたくしを選ばなかった理由についても記入してください。

自分の回答かいとうがすんだら、グループで話し合い、グループとしての考えをまとめてください。まとめるにあたっては、他の人の意見かんたんに簡単に賛成しないようにしてください。

1. あなたが、いつも学校の仲間と利用しているインターネットの掲示板けいじばんを見ていたら、親友のAさんがあなたの悪口あくぐちを書き込んでいるのを見つけました。あなたならどうしますか。
 - a Aさんに連絡れんらくし、すぐに書き込みかこを削除さくじょさせる。
 - b 何か自分にいけないことがあったのかを一人で悩むなや。
 - c Aさんに悪口あくぐちを書き込まれたことを他の友だちに相談する。



2. あなたのメル友からメールが届とどきました。あなたならどうしますか？
 - a 相手から届とどいたメールには、すべてできるだけすぐに返信メールを出す。
 - b すぐには返信せず、少し時間を置いてから返信する。
 - c 回答要求かいとうがなければ特に返信はせず、後で別の要件ようけんができたときにメールする。



「ネット利用！あなたならどうする？」ワークシート

年 組 番 氏名 _____

それぞれの^{せんたくし}選択肢について考えられる問題点などについて記入しなさい。

問題	選 択 肢	問題点など
1	a	
	b	
	c	
2	a	
	b	
	c	

^{かいどう}
[回答用紙]

問題	答	自分の考え	メンバーの考え	グループの答え
1				
2				

「ネット利用！あなたならどうする？」 振り返りシート

年 組 番 氏名

あなたは、この活動の中で、自分の意見をどれくらい自由に主張しゅちようできましたか。理由も記入してください。

とてもよく
主張できた

まあまあ主
張できた

あまり主張で
きなかった

全然主張で
きなかった

理由	
----	--

グループのメンバーは、どのくらい活発かっぱつに話し合いましたか。

納得するまで
話し合った

まあまあ話
し合った

あまり話し合
わなかった

全然話し合
わなかった

理由	
----	--

この活動を通して、あなたは気持ちに何か変化がありましたか。
それはどんな時でしたか。またどんな理由ですか。

--

「解説」

1、2ともあえてこれが正解といえないような選択肢せんたくしが設定されています。それぞれの選択肢せんたくしの抱える問題点について話し合いの中で気付くことが大切です。

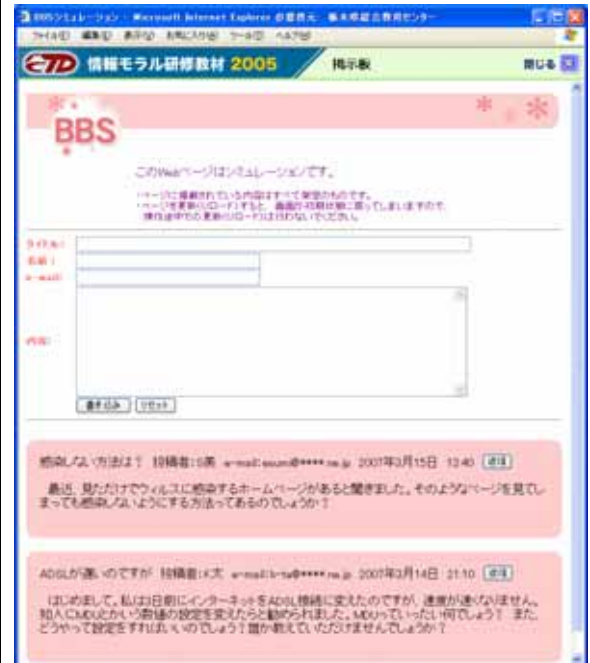
1. aかcが選択肢せんたくしとしては適当てきとうです。しかし、aの場合には、あなたとAさんの間でトラブルが発生する危険性きけんせいがあります。cの場合には逆にAさんがみんなからいじめられる結果になってしまう危険性きけんせいがあります。できれば先生や親などに間に入ってもらう方がよいでしょう。
2. bかcが選択肢せんたくしとしては適当てきとうです。この設定ではメル友となっていますが、これが親友の場合にはすぐに返事を求めている場合もあるでしょう。しかし、いくら緊急きんきゅうでもたとえ授業中に返信するようなことがあってはいけません。いずれにせよ、メールの連鎖れんさにならないように気を付けましょう。

「話し合い活動を取り入れた情報モラル演習例」関連リンク

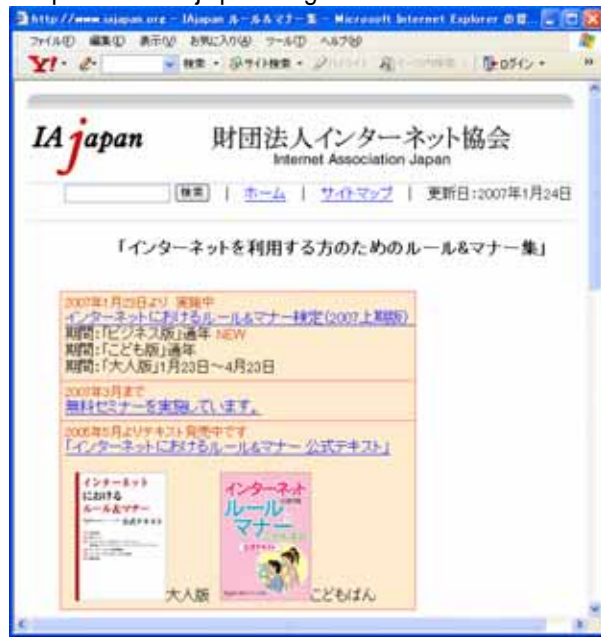
情報モラル研修教材 2005
インターネットショッピングの疑似体験
<http://sweb.nctd.go.jp/2005/taiken/contents/shopping.htm>



情報モラル研修教材 2005
掲示板の疑似体験
<http://sweb.nctd.go.jp/2005/taiken/contents/bbs.htm>



(財)インターネット協会
<http://www.iajapan.org/rule/>



ネチケットホームページ
<http://www.cgh.ed.jp/netiquette/>

